

被保険者の皆様へ

ご希望の検診  
年1回  
3項目まで  
無料

自宅でご都合のいい時に受診できます!

## 郵送検診のご案内

令和4年度  
大阪府浴場国民健康保険組合



本国保組合では、皆様の健康管理のお手伝いとして、今年度もご自宅で簡単にできる郵送検診を実施します。今年度から、子宮頸がん検診（細胞診）がHPV（ヒトパピローマウイルス）検査に変わります。子宮頸がんは主にHPV感染が原因で発生します。HPV検査は子宮頸がんを引き起こす14種類のハイリスク型HPV感染を調べる検査です。この機会を利用して、一人でも多くの方が受診されますようご案内いたします。

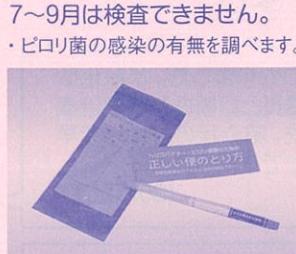
NEW

子宮頸がん  
(HPV)  
20歳以上



- 妊娠中の方は申込みできません。
- ・HPVの感染の有無を調べます。

ピロリ菌  
(便中抗原検査)  
1回限り  
35歳以上



- ★昨年度「陰性」であった方は申込みできません。
- ★本国保組合在籍期間中1回限りの受診です。

※前立腺について

前立腺や泌尿器関連の疾患で治療中の方、特定薬物（抗男性ホルモン剤など）使用中の方、長年寝つきになっている方は、正確な検査結果が出ないことがあります。

① 検診対象者 本国保組合の35歳以上の被保険者の方。（1人3項目まで）但し、子宮頸がんは20歳以上の方。  
(注)生活習慣病（共同健診・予防健診）・人間ドックを受診される方で、検査項目に（大腸・ピロリ・前立腺・子宮頸がん）などが含まれている場合、重複して検査ができませんので、含まれていない検査項目を選んでお申込みください。

② 検診費用 本国保組合が全額負担します。  
\*申し込みをされて検体の返送をされない場合はキャンセル料が発生する場合があります。

③ 申込方法添付の申込用ハガキに必要事項をご記入の上、保護シールを貼り投函してください。（切手不要）  
\*希望する検査項目年1回3つまで受診できます。

④ 申込締切日 令和5年1月31日（火）消印まで有効。（早めにお申込みください。）

⑤ 器具の送付 申し込み後、問診票と採取器具及び返送用封筒が検査機関より個人宛に郵送されます。

器具到着後1ヶ月以内に、問診票と採取した容器を同封の封筒に入れて返送してください。（切手不要）返送が遅れると判定ができないことがあります。但し、ピロリ菌検査は7～9月の間は検体の採取返送はできません。

⑥ 検体返送締切日 令和5年2月28日（火）消印まで有効。

⑦ 検診結果 検体返送後、約2週間で本人宛に通知されます。

⑧ 検査機関 メスブ細胞検査研究所（京都府登録衛生検査所第38号）TEL（075）231-2230

\*個人情報の取扱い

受診する方の個人情報は、本検査を提供する目的に限り利用します。また、受診する方の個人情報を事前の承諾等を得ず、第三者に提供・開示することはありません。

※本国保組合は、検査機関より受診者の検査結果を一括して報告を受け、保健指導および統括に利用します。

※器具の送付を受けた方は、必ず検査を受けてください。何らかの事情で受診されない場合は、検査機関へ連絡してください。未受診のまま連絡がない場合には、器具代を負担していただく場合があります。

がんは予防できる時代です。

## 毎年必ず受けましょう!

まずは郵送検診で早期発見を！



### 大腸がん検診

早期発見・早期治療により、ほぼ100%完治できます！

がんでの死亡原因：

女性第1位、男性第2位！  
昨年陰性だった方も受診しましょう！

検査は簡単！便を採って送るだけ！

### HPV検査

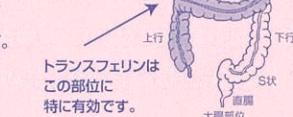
子宮頸がんのリスクがわかります！

子宮頸がんを引き起こす14種類のハイリスク型HPV（ヒトパピローマウイルス）感染の有無を調べます。

HPVに感染後、ほとんどは一過性で免疫力等により自然消滅しますが、稀に持続感染することがあり、がんへの危険性が高まります。

より精度の高い大腸がん（便潜血反応）検査です！

この検査は1本の採便容器から一般的なヘモグロビンだけでなくトランスフェリンも同時に測定します。深部大腸の病変（ヘモグロビン陰性がん）の発見に有効です。



20～30歳代  
増加

### 肺がん検診

中心型肺がんを早期に発見できます！

“PM2.5が気になる方も”

- ◆ 胸部レントゲン検査で見つかりにくいタイプのがんに有効です。
- ◆ 咳痰細胞診は中心型早期肺がんの唯一のスクリーニング法です。

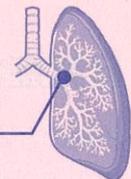


〈こんな方は受診を！〉

- ・たばこを吸う、又は、吸っていた
- ・受動喫煙が気になる
- ・大気汚染（PM2.5など）が気になる

肺門部・中心型肺がん

喫煙者に多い…せき、たん、血痰などの症状  
※喀痰検査で発見!  
肺が脊柱・心臓に隠れるためレントゲンでは見にくい



### ピロリ菌検査

ピロリ菌除菌でがん予防！

胃がんの主な原因是  
ピロリ菌です

ピロリ菌感染により胃の粘膜が傷つけられ、やがて慢性萎縮性胃炎を経て、胃がんを引き起こすことが解明されてきました。

結果が陽性の方は、除菌治療をして、胃がんを予防しましょう。

[胃がん発生の仮説]



50歳すれば  
毎年受けよう！

### 前立腺がん検診

急増しています！ 50歳から年に一度は受診！

血液中のPSAという物質の量を調べることで前立腺の異常を見つける検査です。がんの場合には、その81%を発見できる非常に有効な検査方法です。50歳を過ぎれば定期的な前立腺検査をお勧めします。

- ◆ 前立腺がんはサイレントキラー!! 自覚症状がありません。

がんの初期には排尿障害等の症状はほとんど出ません。

排尿障害とは…

- ・尿の勢いが弱い
- ・尿の回数が増えた
- ・残尿感があるなど

### 歯周病リスク検診

簡単な検査で歯周病のリスクを知り、健康な生活を！

お口の中は大丈夫ですか？

- ◆ 歯周病は静かに進行します。自覚症状のない時から、定期的に検診を受けることが大切です。
- ◆ 歯周病は歯を失う原因であるだけでなく、様々な病気のリスクを高める全身病です。



結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう。

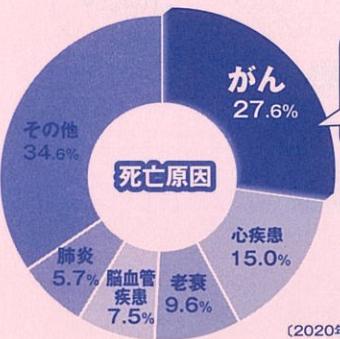
# 毎年必ず受けましょう！がん検診！

がんは予防できる時代です。

## ● 誰でもがんになる可能性があります！

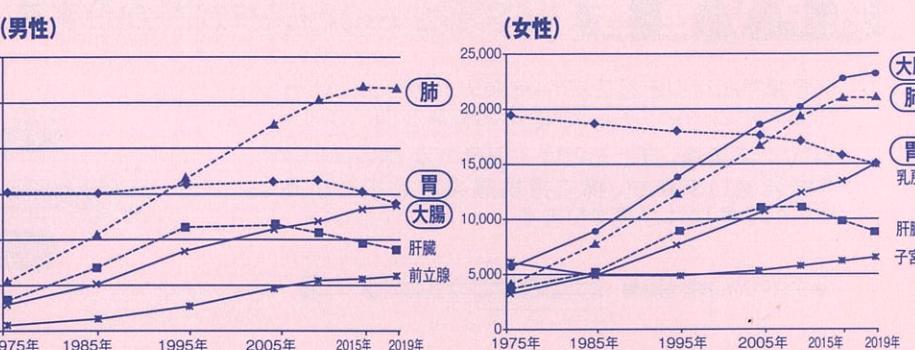
一生の間に2人に1人ががんになる時代ですが、早期発見で適切な治療をすれば、健康な日々を過ごすことができます。

### 【主な疾病の死亡原因に占める割合】



### 【主ながん部位別死者推移】

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録統計」

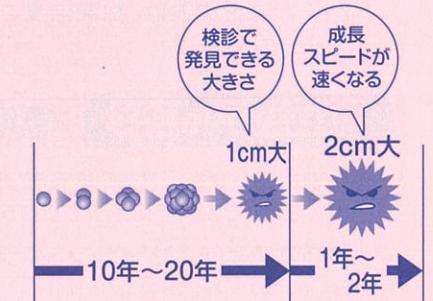
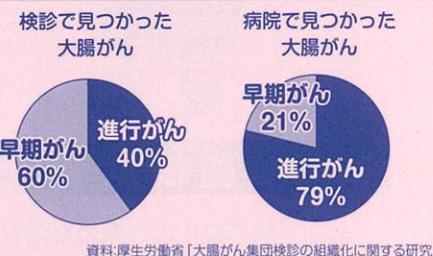


## 自覚症状がなくても、まず検診！

早期のがんに自覚症状はありません！

がんを早期に見つけ、治療するためには、自覚症状がない時にこそ定期的に検診を受けることが大切です。

自覚症状を感じて病院で発見されたがんは79%が進行がんです。



## 毎年検診を受けることが重要です！

がんの大きさが1～2cmくらいまでを「早期がん」といい、この段階で治療を受ければ完治も可能です。

検診で発見できるこの1～2cmの大きさになるには、10～20年かかりますが、1cmのがんが2cmの大きさになるのにはたった1～2年しかかかりません。だから、毎年がん検診を受けることが必要なのです。

## 結果が陽性の時は、速やかに精密検査を受けましょう！

検診は「自覚症状のない人」から「がんかもしれない人」を見つけるスクリーニング検査です。がん以外の何らかの疾患が隠れていることもあります。自覚症状がないから大丈夫！と思わず、すぐに精密検査を受けましょう。

# 毎年必ず大腸がん検診を受けましょう！

大腸がんは

かかる人  
年間152,254人  
第1位

亡くなる人  
年間51,420人  
第2位

人口動態統計  
罹患:2018年 死亡:2019年

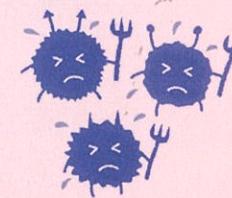
毎年検診を受診する人は、大腸がんによる死亡率が約70%低下すると厚生労働省が発表しています。

## 腸内環境を整えて免疫力UP！



腸は栄養素を吸収する役割の他に、自律神経や免疫細胞が集まり細菌やウイルスなどの有害なものを排除する機能を担っている重要な器官です。腸内環境を整えることで免疫機能を高めることができます。

腸内環境をよくすることは、消化・吸収・排泄の正常化、免疫力の向上、腸内細菌の毒素産生を低下させ、メタボの改善、ストレス耐性を高めます。さらに、がん・アレルギー・過敏性腸症候群・便秘のリスクを低下させることにもつながります。



## 毎年受けければ怖くない！ 大腸がん検診「受診者様の声」より

陽性の結果で精密検査に行き、内視鏡で“がん”と“ポリープ”を切除しました。初期がんでしたので治療せず経過観察です。毎年受けていれば早期で発見でき怖くないと、多くの人に知らせたいです。（50代男性）



精密検査で潰瘍が見つかりました。がん化はしておらず、潰瘍性大腸炎と診断され服薬治療をすることになりました。紹介状のおかげで早めに受診できてよかったです。（30代男性）



10年以上毎年検査を受けていましたが、今回初めて陽性でびっくりしました。精密検査で“がん”が見つかり、またびっくりしましたが、転移もなく早期でした。毎年受診してよかったです。（60代男性）



便秘がちで陽性は痔の出血のせいだと思っていました。ポリープが見つかりショックを受けましたが、切除できたことは幸いでした。今後も検診を受けたいと思います。（40代女性）



今回幸い異常なしでしたが、便秘なので一番心配していたのが大腸がんでした。こういう機会がなかつたら怖くて内視鏡検査をしなかつたと思うので、受診して安心でき良かったです。（40代女性）



### [注意事項]

- 郵送検査は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
- 郵送検査はスクリーニング検査（一次検査）であり、検査結果は病名を診断するものではありません。「要精密・陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
- 郵送検査の検査結果のみで病名を診断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。

## ● 郵送検査のシステム



令和3年度  
京都府医師会  
臨床検査精度管理調査  
協力施設

メスパ細胞検査研究所  
京都府登録衛生検査所第38号

〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下る瓦町550 メスビル内

TEL.075(231)2230

FAX.075(211)7400

<http://www.msp-kyoto.co.jp>

E-mail:mail@msp-kyoto.co.jp